

豊田市長へ表敬訪問 特別栽培米「赤とんぼ米」



J Aあいち豊田は、豊田市の中山間地域で生物にやさしい環境条件を整えながら栽培する特別栽培米「赤とんぼ米」の出荷が始まります。11月4日、2020年度産の作柄および出荷状況の報告で、生産者とJA職員が同市の太田稔彦市長を表敬訪問します。

田んぼに舞う赤とんぼの姿を復活させ、美しい景観を守ろうとするこの取り組みは、地元産米を地域で買い支えてもらうことが必要です。「赤とんぼ米」栽培の取り組みで、農家の米づくりに対する思いなどを広く知ってもらい、消費者の農業に対する理解をより一層深めてもらいたい考えです。

「赤とんぼ米」は、農薬の使用成分や化学肥料に含まれる窒素成分を愛知県の慣行基準より5割以下に削減した特別栽培米です。

地域農業を応援するグループ“赤とんぼ友の会”の会員も募集しています。現在107人の会員が、田植えや生き物観察、稲刈りなど一般消費者を巻きこみ、農業体験を行っています。2020年度産「赤とんぼ米」は、10月7日より玄米1キロ460円（税込）で、JAグリーンセンターや産直プラザで販売しています。

訪問日時

日時：令和2年11月4日(水) 13時30分～

場所：豊田市役所 南庁舎5階 市長室

訪問者：赤とんぼ米 栽培グループ

会長	伊藤 政和
副会長	伊藤 喜代司
代表理事組合長	石川 尚人
代表理事専務	中根 金良
営農部長	柴田 力行
営農指導課	乗松 仁一

あいち豊田農業協同組合



▲ 昨年の赤とんぼ米贈呈式の様子

「赤とんぼ米」の栽培は5年前から始まり、2020年度は27人が栽培面積約15ヘクタールで、出荷量44トンを見込んでいます。

お問合せ先：JAあいち豊田 営農部 営農指導課

住所：豊田市西町4丁目5番地

電話：0565-31-2460

担当：深津

FAX：0565-31-9825

